



熊本市立大江小学校

# ときめき

2022.6.7(火)

No. 23



文責  
松永

## 6月

## 学校朝会がありました。(6月1日水曜日)

先週の水曜日(1日)の朝から、学校朝会がありました。はじめに、学校内で見つけたいいところを写真で振り返りました。靴箱、たな、トイレのスリッパなど、整理整頓されている様子です。

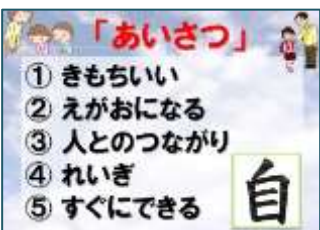


先日、授業の様子を見に来られた大学の先生からもこんなメールをいただいています。「廊下のファイル立てやロッカーの整理されている様子

に、日ごろの先生方のご指導がすごいのだと感じました。」と…。それほど、きれいに並べられていたのです。自分の靴や持ち物を整えるのは、自分がしないことには誰もしてくれません。トイレのスリッパ並べも同様です。誰かがきれいに揃えているから並んでいるのです。「人任せにするのではなく、自分がやる！」誰かがやってくれるのではなく、「自分がするんだ」という気持ちが必要だと思うのです。そこで、今月の一文字を「自」としました。



そして、自分からの気持ちでできることの一つとして、挨拶について話を進めました。先月の学校朝会で、挨拶をがんばってほしいと話をしてからは、朝から登校してくる子どもたちの挨拶が少しよくなってきたように感じています。でも、中には恥ずかしいのか、下を向いたままでもり過ぎる子や小さな声での挨拶になっている子どももいます。校内でも同様で、高学年がもう少し進んで挨拶できるといいなと思っています。学校全体として、自分から相手に伝わる挨拶ができるようにしていきたいと考え、ゲストに登場してもらいました。そのゲストとは、朝からゴミ拾いをしながら、出会った方々に挨拶をしている開新高校の軟式野球部の主将 池田さんと副主将 林田さんです。私もその礼儀正しい挨拶に出会って、さわやかな気持ちになった一人です。背筋がピンと伸びるような感じがして、一日がんばろうという気持ちになります。校区内にある高校ですから、取材の申し入れをしました。そうしたところ、ビデオ収録より生出演がいいだろうということで、2人が大江小に来てくれて、学校朝会に登場し、インタビューに答えてくれました。



伝統的に続けている挨拶をしていてよかったことは、地域の人たちと顔見知りになって、部活動を応援してもらえるようになったと話してくれました。大江小の子どもはよく挨拶を返してくれるけど、もう少し元気があるといいなと感じているそうです。自分が挨拶することも相手が返してくれることも嬉しいし、何より気持ちいい！だからこれからも続けていきます…と力強い

メッセージを伝えてくれました。朝会が終わった後には、各教室に向いて挨拶のお手本を見せてもらいました。負けないように挨拶を返す子どもたちの姿もありました。「カッコいい！」そんな声も聞こえてきました。1年生のお礼の手紙にも、目標にしたいといった内容も記されていました。きっと心に響くものがあったのではないかと思います。実践につなげてほしいです。

